みなと元町 タウンニュース TOWN NEWS No. 308

発　行:みなと元町タウン協議会　住　所:〒650-0022 神戸市中央区元町通3-13-1協和会館内　発行人:奈良山喬一　編集人:岩田照彦　電話・FAX:078−391−0831

商店街沿道建物の壁面位置について考える

ゼンクリエイト 根津 昌彦

神戸元町商店街まちなみ委員会では、毎月第２金曜日の午後7時から、商店街沿道で新築・増改築・テナント新規出店などに伴う意匠変更などの建築行為を行う場合や看板掲出などを行う場合に、申請書に基づいて事業主に委員会に出席いただいて、事前協議を行っている。

最近では元町3丁目のホテル新築工事や元町４丁目での店舗付きマンション計画などが新築工事として協議が行われたが、こうした新築工事の際に、必ず議論となるのが、道路境界線からの後退距離に関する問題である。神戸元町商店街景観形成市民協定における「まちなみ形成のルール」の中では、「壁面の位置：神戸元町商店街の連続性を配慮して、壁面の位置は原則として道路境界から後退した建築計画を避けます。」という基準を設けている。読んで字のごとく、壁面後退距離はゼロを原則とするというものである。

ところが、事業主が建築計画を進めていく場合、限られた敷地の中で、最大限の有効活用を図ろうとすると、この「壁面後退距離ゼロ」が守り難くなるということが起こる。斜線制限という建築基準法上のルールによって、建物の形態に一定の制約がかかるという問題が生じるのである。建築基準法の斜線制限のルールを以下に紹介しよう。

(1) 道路斜線制限

敷地が道路と接する場合、道路の反対側の境界線からの距離に応じた高さの制限がかかる。

(2) 隣地斜線制限

敷地が隣地と接する場合、隣地境界線からの距離に応じた高さの制限がかかる。

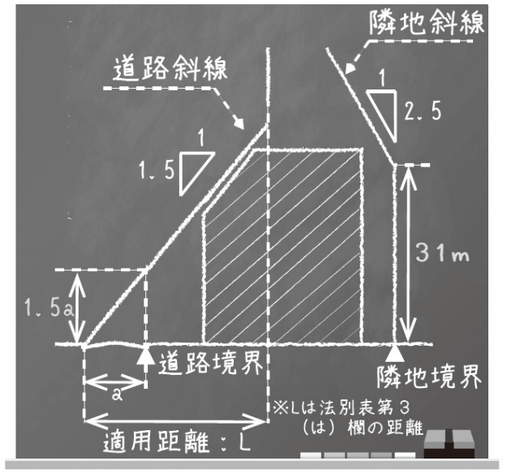
下記右図にあるように、道路斜線制限は接する道路の反対側の境界線から敷地に向かって斜めの線が伸びてきており、適用距離（商業地域で容積率600％以上の場合は30ｍ）まで斜線の内側でないと建物が建てられないという規制が道路斜線制限だ。但し、この規定は、建物の壁面を道路境界から後退して建てる場合、後退した距離と同じ距離だけ斜線制限の起点が遠ざかるという緩和規定がある。つまり、建物を後退させれば斜線制限による形態制限が有利に働く場合があるのだ。

この緩和規定を前提とした建築計画で事前協議となれば、当然委員会としては、壁面後退ゼロとできないか申し入れを行うが、現実的には改善いただける余地は少なく、結果的に道路境界からの後退距離が発生し、街並みの連続性の問題だけに留まらず、アーケード部分の雨じまいにも影響が出るのである。

現在、タウン協から、元町商店街沿道の建物用途及び土地利用の考え方を各商店街振興組合で議論いただくよう要請を行っている。この壁面位置の考え方についても検討いただきたい項目の一つとしてお願いしている次第である。商店街沿道の建物の建て方について、真摯な議論が行われるよう願っている。

	住居専用 第1種低層	住居専用 第2種低層	住居専用 第1種中高層	住居専用 第2種中高層	住居専用 第1種住居	住居専用 第2種住居	準住居	商業地域	近隣商業	工業専用	工業	準工業
道路斜線制限	有											
隣地斜線制限	なし		有									
北側斜線制限	有		(有)*		なし							

＊日影規制がある場合は「なし」



【元町・夢街道】(112)

書店の話(10)

鳩居堂(9)

岩田照彦

明治五（一八七二）年、整った学校制度は全国に通達されたが、全国を画一的に実施するのは不可能だった。寺院や寺子屋すら、手当できない地域もあったろう。国が決めたからとして、すべての児童が小学校へ入れるような生活環境にあったかどうか。教科書を供給する側には気になる問題だ。明治九（一八七六）年、県下には八百七の小学校が設立されていたが、十年代の就学率は四十％前後で、全国平均をも下回る状況だったという。

兵庫県は明治十二（一八七九）年八月、山間僻地で実施不可能な地域を対象に、「兵庫県簡易教則」を公布する。下等小学四年、上級小学四年制度を、一年ずつ短縮してそれぞれ三年とする制度である。修業年限の短縮は全国的に行われており、政府は明治十二年、教育制度を大はばに緩和する措置にでるが、教育を受けるのも自由、との受けとめ方が蔓延、義務教育の難しさだけが浮き彫りになる。

明治十四（一八八一）年四月、「小学校教則綱領」により、小学校は初等三年、中等三年、高等二年に区分、初等科の三年は必ず就学させることにしたが、それすら徹底することは難しかった。明治十五年の兵庫県年報によると、初等科入学者は三万二千七百九人に対して三年目の終業時は六千八百六十一人、中等科では四千五百四十七人でスタートしているが終了したのは四百六十九人、高等科でも入学者百七十六人に対して卒業者は三十五人、すべて上級になるほど生徒数は減っていった。

不就学の理由は、民衆が教育の必要性を自覚しなかったことにあり、さらに大きな理由は貧困だ。実生活に役立たない学校に授業料まで払う余裕はなかった。三年で退学後は家庭の手伝いであり、女子は裁縫塾への転向が優先された。就学しないものが多いため、兵庫県は、不就学を認める条件を、疾病に罹る者、疾病看護人のない者、疾病の者、一家貧嬰の者とした。一方、学校が満員で就学を受け入れることができないときは、学務委員、教員協議し、その旨、父母後見人に通報すべし、としている。積極的な就学を奨励できない受入教室側の事情もあったのだ。

県内の就学率が九十パーセント台を超えるのは、授業料無料化と試験制度の全廃を柱とする明治三十三（一九〇〇）年、改正小学校令が施行されてからになる。

神戸元町商店街 楽市楽座情報 4月

◇元町1番街商店街振興組合　TEL331−7850

元町占い市　4月11日（水）12時～17時
元町1番街水曜市　4月18日（水）10時～19時

◇元町5丁目商店街振興組合　TEL341−3410

第30回 元町児童絵画コンクール展
4月28日（土）～5月6日（日）11時～18時
「手品が街にやって来た!」5丁目マジックパラダイス
4月29日（日）11時～17時

◇風月堂ホール（有料）　TEL321−5555

もとまち逸席「恩雅亭」
4月10日（火）
桂　三四郎　桂　三若　桂　あやめ
笑福亭 福笑　笑福亭 仁智　桂　文枝
前売券は3月11日より風月堂で発売

◇こうべまちづくり会館ギャラリー（無料）　TEL361−4523

4月5日（木）～4月10日（火）
第25回 丹水会展（水彩）
4月12日（木）～4月17日（火）
第63回 木曜会　絵画展（油彩・水彩）
4月19日（木）～4月24日（火）
第29回 神戸パステル画会（パステル画）
4月26日（木）～5月1日（火）
第25回 いくた15人会展（油彩）

◇元町映画館（有料）　TEL366−2636

3月31日（土）～4月13日（金）
『わすれな草』・「タルコフスキー特集」
4月7日（土）～4月13日（金）
『アウトサイダーズ』・『サラバ静寂』
4月14日（土）～4月20日（金）
「2017年 おかわり映画祭」
『STOP』・『唾と蜜』
4月14日（土）～4月27日（金）
『ザ・キング』
4月21日（土）～4月27日（金）
『リアル』・『君の笑顔に会いたくて』
4月21日（土）～5月11日（金）
『ニッポン国vs泉南石綿村』
4月28日（土）～5月4日（金）
「イスラーム映画祭3」

栄町通クリーン作戦

栄町通まちづくり委員会は3月9日（金）10時から10時30分まで、栄町通を中心に、ゴミ拾いと不法ビラ撤去、自転車・バイクなどへの不法駐輪警告チラシ取り付け作業など、栄町通クリーン大作戦を実施した。参加者は、（元栄海三丁目自治会）奈良山喬一、（神戸市住宅都市局）坂田竜一・田中雄也、（広島銀行）川上雅司、（トマト銀行）上田良之、（兵庫県信用組合）古門佑樹・森田絢、（パナホーム㈱）宮崎哲弘・鈴木京子、（㈱神明）高見和香子、（神明倉庫㈱）十時実希、（㈱イーエスプランニング）三河晶子、（佐野運輸㈱）志賀俊之・北島幸宏、（まちづくり会館）小椋辰海、（新光明飾）篠原博明・大森貴美子・西村友博、（佐田野不動産㈱）佐田野宏之、以上19名のみなさんでした。毎月第2金曜日午前10時、栄町通6丁目佐田野不動産前集合の上、実施しています。お気軽にご参加ください。

編集後記

料亭の数も減り、花隈の風情が失われていくのを横目に見ていたころ、小曽根実さんをまじえ平成十一年八月六日（金）、「花隈（坂）のまちづくり・マリンロードとの接点を求めて」という題で懇談会を開いたことがある。参加したのは、小曽根さんのほか浜野吉男（成駒家社長）、阿部功二（花隈中央商店会会長）、神谷孝子（芳栄）、福西久子（豆千代）、山嵜章子・岡康子（神戸市アーバンデザイン室）、吉田薫（まちづくりワークショップ）のみなさんと事務局。懐かしい顔ぶれの集合で、回顧行列の再興などが議題になって盛り上がったことを思い出す。その後、本紙のインターヴユにも登場していただいた小曽根さんが二月十五日、亡くなった。生前のご協力に感謝し、ご冥福をお祈りする。

海という名の本屋が消えた（53）

平野義昌

松方幸次郎　その3

第一次世界大戦では、飛行機、戦車、潜水艦、機関銃、毒ガスなど新兵器が登場した。戦死者だけで1500万人とも1700万人とも言われている。戦後、連合国側各国はドイツUボート最新鋭艦の設計図入手に躍起になっていた。終戦前にドイツ自身が艦を破壊し、現物は残っていなかった。日本海軍から松方幸次郎に入手の密命が下り、幸次郎本人がスパイになる。美術蒐集家としてヨーロッパを動き回っても怪しまれないという読みだ。

川崎造船所は戦争で莫大な利益を得た。事業は造船から製鉄、海運、鉄道車両へと広がるが、好景気の後には反動が起きる。車両部門が健闘して経営を支えていた。幸次郎は海軍の建艦に期待していた。1920（大正9）年、戦艦・駆逐艦など17隻を受注する。メインバンク・十五銀行は3銀行を吸収して国内4位の大銀行になる。盟友・鈴木商店は拡大を続け、関連企業は60社を超えた。いずれも順調に見える経営だが、それぞれ大きな問題を抱えていた。川崎は不採算部門と世界的軍縮、十五銀行は不良債権、鈴木は超多角経営拡大・投資先行。次第に不況がのしかかってくる。

21（大正10）年4月から翌年2月、幸次郎はヨーロッパ出張に出る。まずアメリカで美術商たちにパリ買い付け訪問の前宣伝をし、それがヨーロッパに伝わる。幸次郎は洋画家・黒田清輝の紹介により、矢代幸雄を画廊や画家訪問に連れ歩いた。矢代はイタリアで美術史を研究していた。ロンドンではブラングイン宅を訪問し、共楽美術館の模型を眺め旧交を暖めた。パリに着くと、ホテルに画商たちが押しかけて来た。

幸次郎はUボート図面が最優先だが、共楽美術館のための絵も厳選しなければならない。パリでのアドバイザーはブラングインが推薦したレオンス・ベネディット（リュクサンブール美術館・ロダン美術館館長）。幸次郎は彼が勧める絵を次々購入する。矢代が幸次郎に、ベネディットの感覚は時代遅れと批判するが、聞いてもらえない。また、矢代が気に入った絵を勧めると幸次郎は不機嫌になる。それでも矢代は幸次郎に付き添う。矢代にしてみれば幸次郎といるだけでヨーロッパの名品を見ることができる。幸次郎がゴーギャンの作品を見たいと言うと、画商たちが探してくる。ロンドンやベルリンから作品が到着する。幸次郎の豪快な買いっぷりと人間性が信用されていたのだろう。

矢代がある画廊でゴッホの「寝室」を見て感激し、「日本のために買ってください」と頼んだ。ゴッホは同じ題材で3枚描いていて、その絵は第3枚目にあたる。写真

〈ガラス窓に当る南フランスの陽の輝き、それが床に反射し、壁にかけた自画像に反射し、すべて黄色の光焔になって燃え立っているような熱狂的な画で、誰だってこれを一目見て夢中にならざるを得ない。〉註1

幸次郎は取り合わない。矢代は失望するが、数日後、幸次郎がその絵を買っていたことを知る。誠に残念ながら、この絵は《松方コレクション》返還品から除外された。フランスにとっても至宝である。

矢代は幸次郎の交渉術にも感心している。画商の押しつけをとぼけたり、笑い飛ばしたり、絵を褒めたり貶したり、興味を示しながら目当ては別の絵であったり。フランス語が不自由なことをいいことに、わからないふりをする。会話と駆け引きを楽しんでいた。画商たちは幸次郎を、金持ちの素人コレクターだと思っている。狐と狸の化かし合いで、幸次郎は純粋・正直な矢代のことを、「君なんかと一緒にいるとほんとうのことを直ぐ言ってしまって困るよ」と呆れた。註1

幸次郎の姪（兄・巌の娘）夫妻がクロード・モネと懇意にしていて、幸次郎をパリ郊外のアトリエに連れて行った。モネは浮世絵を愛し、庭は日本風、有名な睡蓮の池があった。幸次郎のことは新聞で知っていて、歓迎された。幸次郎のおみやげは高級ブランデー。

《……松方さんがモネーの家でその壜を出すと、モネーは「ナポレオーン、ナポレオーン」と大きな叫び声を揚げて、その壜を振り上げ大はしゃぎであった。それからまたモネーの画をよく見て廻って、松方さんは、あれがいい、これがいい、などと言いながら、モネーにこれだけの画を特に自分のために譲ってくれといって、大作、合計18枚を数えたところ、これにはさすがのモネーもびっくりしたようで、まるで感激して、「お前は私の画をそんなに好きなのか」とたずねた。》註1

幸次郎は片言のフランス語で絵画購入の目的と情熱を語った。幸次郎には気難しい芸術家の胸襟を開かせる魅力があった。

さて、Uボート図面入手方法ついて、『火輪の海』が諸説紹介している。

(1)幸次郎旧知のドイツ人造船技師が仲介し、スイス人技師が持ち出した設計図10数枚をスイスで入手。

(2)謎の日本人・宗像某が暗躍、ドイツ海軍の技師から図面入手。幸次郎がドイツで買った美術品に隠してスイスに持ち出す。

(3)幸次郎が信頼する商社マンがオランダの造船所（ドイツ兵器会社のダミー会社）から入手。

かなり簡単に書いたが、連合国監視の中、それぞれ緊迫したドラマがある。真相は不明だ。幸次郎はベルリン、ハンブルク、デンマーク、スウェーデンを訪問、絵を購入しながら様々な手を打ったということだろう。図面入手後は特に派手に買い付けた。

この年11月2日、ロンドンで幸次郎は盛大な晩餐会を開催している。イギリスの貴族、議員、画家や画商を招待し、日本側は林権助大使他外交官、海軍武官ら100名が集まった。林は会津出身ながら、幸次郎とは幼なじみ。後に《松方コレクション》返還に関わる吉田茂もこの場にいた。林は幸次郎に向かって、破産する前に美術品を買っておけ、それが国への奉仕だ、と挨拶した。冗談の言葉が現実になっていく。註2

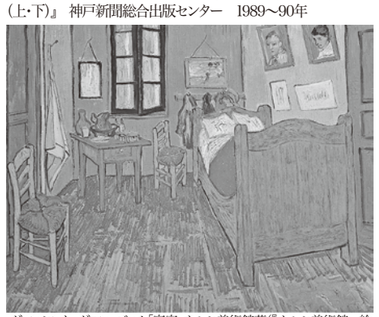
晩餐会の10日後、ワシントン軍縮会議（英米日仏伊）で、英・米・日の海軍力比5・5・3（仏伊は1.75）、今後10年間巨艦建造禁止が決定。戦後不況の中、各国とも軍備拡大が財政を圧迫していた。結果、日本の新艦建造計画は白紙になる。川崎造船所で完成していた「加賀」は廃艦、その他建造中止、設備投資は無駄になり、海軍に前金を返済しなければならない。ライバルの三菱造船所は大量の人員整理を行った。川崎でも大量解雇必至だったが、幸次郎の温情と、熟練技術者を失うことを避けた。この年の7月から8月、神戸で三菱・川崎の労働者による大労働争議が起きていた。幸次郎不在の中、川崎でも解雇者が出ていた。幸次郎には造船部門挽回の秘策があった。軍縮条約では潜水艦は対象外だった。Uボート図面入手に際してドイツの技師をスカウトしていた。幸次郎帰国後、潜水艦建造に乗り出す。ところが、23（大正12）年8月、潜水艦試運転中に沈没し犠牲者が出た。その引き揚げ作業中の9月1日に関東大震災が起きる。共楽美術館建設どころではなくなった。加えて、復興資材の輸入が急増したことで、日本の貿易赤字が拡大。24（大正13）年7月、政府は打開策として高級輸入品に10割の関税をかけた。神戸港に到着した幸次郎の美術品にも関税がかかる。やむなくそのまま送り返された。同年、父・正義と美術館協力者・黒田清輝が続いて死去した。

26（大正15）年3月、幸次郎は造船所内で転倒してアキレス腱断裂。6月のスイスジュネーブ国際労働会議出席のため松葉杖でヨーロッパに出張する。外国企業との交渉、現地勤務社員激励と多忙の中、パリで絵を少し購入し、社の技師・日置釭三郎にコレクション管理を依頼している。

27（昭和2）年4月、幸次郎帰国。国内は震災後の金融政策から銀行不安が広がる。「昭和恐慌」だ。銀行休業が相次ぐ。鈴木商店が破綻し、さらに銀行が休業する。市民が預金引き出しのため窓口に殺到した。川崎のメインバンク・十五銀行も休業、松方巌頭取は責任を取って私財を放出し、爵位を返上した。川崎は政府主導の再建策によって、大量人員整理、車両部門独立、造船部門は海軍に引き取られた。川崎家と幸次郎は私財を差し出し、役員は報酬カットや返上。幸次郎の美術コレクションはすべて十五銀行に差し押さえられた。28（昭和3）年5月、株主総会で幸次郎は辞意を表明、その挨拶は2時間に及んだ。註2

註1　矢代幸雄「松方幸次郎」（『松方コレクション展　いま甦る夢の美術館』カタログ　神戸市立博物館　1989年）

註2　神戸新聞社編『火輪の海――松方幸次郎とその時代――（上・下）』神戸新聞総合出版センター　1989～90年



ヴィンセント・ヴァン・ゴッホ「寝室」オルセ美術館蔵（『オルセ美術館　絵画』みすず書房、1989年より）。現在、「寝室」1枚目はオランダゴッホ美術館、2枚目はアメリカシカゴ美術館に所蔵されている。

出来事ファイル（№18－4）

■神戸元町商店街イベント企画提案入賞者きまる

神戸元町商店街連合会は、神戸開港一五十年を記念して、一月十五日締切で神戸元町商店街へのイベント企画案を募集した。四十八件の応募があり、各丁から選出されたイベント担当委員による慎重な選考の結果、次の通り入賞者が決定した。

最優秀賞　MOTOMACHIの隠れた宝をさがせ
大森真衣奈さん（甲南大学生）

こどもの日や敬老の日にあわせ、商店街店舗で売っている、その日にふさわしい商品名を記載したカードを商店街の入り口で配布、記載された商店で目的の商品を探し出し、ゴールとして用意されたブースに提出すると、探し出した商品とともに記念品をプレゼントする企画。個店の魅力と商品の利用で知名度をアップするのがねらい。

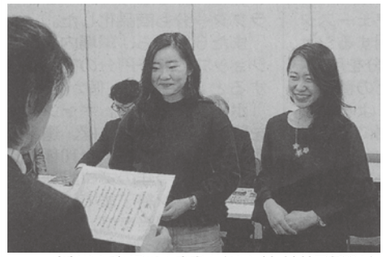
優秀賞　MOTOMACHIクリスマスマーケット
山根美里さん（元町ツバメ洋品店）

バルト三国の「クリスマスマーケット」をモデルに、通りの中央に雑貨や飲食の屋台を並べ、巨大なクリスマスツリーを設置、ゴスペル演奏を背景にサンタクロースとの撮影会などインスタ映えを考えSNSで拡散、1,2キロの大規模なクリスマスマーケットを開催。

優秀賞　元町ブランド　片山喜市郎さん（元町通6丁目）

神戸にゆかりのあるデザイナーとのタイアップを前提に、一年目はバナー、ポスター、自転車乗り入れ禁止看板、犬のおしっこサインなどを一新。二年目は個店の力を活かした元町ブランド商品（文具・お菓子・雑貨など）の製作、三年目は、商品販売開始PRイベントを実施するほか、オンラインショップも開設する三年計画で、元町ブランドの確立を図る。

入賞の三氏には三月六日（火）開催の元町商店街役員会で賞状と賞金が贈呈された。



表彰状を受け取る大森真衣奈さん（中央）神戸新聞より

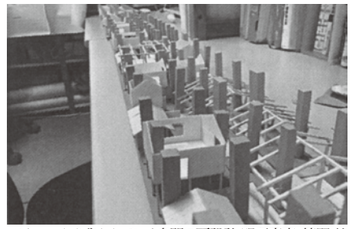
■元町の待ち合わせスポット改修工事

乗降客の多いJR元町駅東口前広場の再整備に当たって、神戸市は一般募集による最終案を決定していたが、入賞したアイデアにもとづき3月末から6月末までの予定で、工事を始める。駅前広場にゆったりしたベンチを川の流れのような形で数段にわたって重ねる。その前面にも独立した円形のベンチを備え、元町地域への玄関口に、ふさわしいスポットとする。

完成後のイメージ図

■UNION IN KOBE（ひよっこ展）開く

3月3日・4日の両日、元町5丁目商店街で、明石高等専門学校・神戸大学・大手前大学生による卒業設計展が、UNION IN KOBEと名称をかえて開かれた。モトコーを再開発する作品や奥大山の自然のなかに点在するウエデイングホテル、新しい家族の形に合わせた集合住宅、結婚式場や宿泊、店舗などを付与した神戸空港のイメージなど14の作品が商店街を彩った。



モトコーから失われていく空間の再設計 明石高専・檀野 航

■津波防災訓練、整然と

元町商店街防災懇談会は、3月9日（金）消防署や消防団に商店街、地元自治会が参加して津波防災訓練を実施した。午前9時、元町4丁目商店街の浜屋前に集合、神戸市役所からの訓練開始アナウンスを確認して消火活動を実施、その後、車椅子や車椅子に模した台車に椅子をのせた緊急の輸送具もまじえ、避難目的地の花隈公園までのぼりつめ、元町商店街連合会・近藤会長のあいさつで避難訓練を終了した。

□「高倉健追悼特別展」大谷美術館と元町映画館コラボ

西宮市大谷記念美術館と毎日新聞社は四月七日（土）～五月二十七日（日）まで、「追悼特別展 高倉健」を開催する。同展覧会は二〇一六年東京ステーションギャラリーを皮切りに、北九州や北海道など五つの会場を回り、大谷美術館は七会場目。

高倉健は、演技の面だけではなく、存在感という点で、また表現者として独自の境地を切り開いた。横尾忠則、森山大道による高倉健をモチーフにした作品やスチール写真、高倉健所蔵の台本や小道具、スチール写真、ポスターやプレスシートなど展示するほか、出演作二百五本から高倉健出演場面を抜粋、紹介する。さらに「出演映画を一本、最初から最後まで見て頂きたい」との思いから、元町映画館で二作品を上映、大谷美術館で行われるワークショップには同館支配人の林未来さんが講師として参加する。

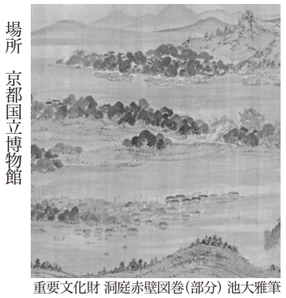
五月十三日（日）午後二時～
「フィルム映画のしくみを知ろう」大谷記念美術館
五月十九日（土）～二十五日（金）
「飢餓海峡」元町映画館
五月二十六日（土）～六月一日（金）
「君よ憤怒の河を渉れ」元町映画館
（西宮市大谷記念美術館☎0798－33－0164）

□読者プレゼント

特別展「池大雅 天衣無縫の旅の画家」

江戸時代中期の京都画壇で人気を博し「南画の大成者」として知られる池大雅、85年ぶりの大回顧展です。鑑覧ご希望の方は、はがきに住所、氏名、年齢、本紙へのひとことを添えて編集部まで。先着順で5名の方にペア招待券をお送りします。

場所　京都国立博物館
☎075－525－2473（テレホンサービス）
期間　4月7日（土）～5月20日（日）



重要文化財 洞庭赤壁図巻（部分） 池大雅筆 京都国立博物館（通常展示）